

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年2月10日

計画の名称	2 名古屋市における災害に強い道路の整備																
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	名古屋市										
計画の目標																	
都市計画道路及び法面防災対策等の整備や橋梁の耐震補強を行うことで、災害時の道路ネットワーク形成の向上を図り、災害に強いまちづくりを行う。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
・走行時間の短縮 ・緊急輸送道路の通行可能率の向上 ・避難路の整備率の向上																	
定量的指標の定義及び算定式																	
① 整備前と整備後の走行時間を実測し、総走行時間の短縮率を算出する。 （短縮率）＝（H23の総走行時間－評価時点の総走行時間）／（H23の総走行時間） ② 緊急輸送道路のうち、橋梁耐震補強を実施することにより、橋梁の被災により通行不能とならない延長の率を算出する。 （通行可能率）＝（通行可能な延長）／（緊急輸送道路延長） ③ 避難路の整備延長の進捗率を算出する。 （進捗率）＝（H24から評価時点までの避難路の整備延長）／（避難路の総延長）										定量的指標の現況値及び目標値			備考				
										当初現況値 （H23当初）	中間目標値	最終目標値 （H27末）					
										0%	－	29%					
										80%	－	90%					
										0%	－	1.2%					
全体事業費	合計 （A＋B＋C）	18,856百万円	A	18,736百万円	B	0百万円	C	120百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.6%							
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期										
名古屋市							平成28年8月～11月										
							公表の方法										
							名古屋市HP上にて公表										
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
2-A1	道路	一般	名古屋市	直接		市町村道	改築	（市）志段味水野線	法面防災対策（落石対策） L=1.1km	名古屋市						800	
2-A2	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（主）名古屋多治見線（矢田川橋）	耐震補強 L=0.12km	名古屋市						310	
2-A3	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（主）弥富名古屋線（新前田橋）	耐震補強 L=0.23km	名古屋市						820	
2-A4	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（主）弥富名古屋線（沢上橋）	耐震補強 L=0.22km	名古屋市						150	
2-A6	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（主）名古屋長久手線（上社陸橋）	耐震補強 L=0.33km	名古屋市						175	
2-A7	道路	一般	名古屋市	直接		市町村道	修繕	（主）東海橋線（紀左エ門橋）	耐震補強 L=0.51km	名古屋市						270	
2-A8	道路	一般	名古屋市	直接		国道	修繕	（国）247号（道徳橋）	耐震補強 L=0.06km	名古屋市						580	
2-A9	道路	一般	名古屋市	直接		国道	修繕	（国）247号（港東橋）	耐震補強 L=0.06km	名古屋市						200	
2-A10	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（主）弥富名古屋線（榎光橋）	耐震補強 L=0.09km	名古屋市						380	
2-A11	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（主）名古屋中環状線（明德橋）	耐震補強 L=0.22km	名古屋市						630	
2-A12	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（主）名古屋中環状線（日の出橋）	耐震補強 L=0.13km	名古屋市						560	
2-A13	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（主）関田名古屋線（宮前橋）	耐震補強 L=0.19km	名古屋市						360	
2-A14	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（主）名古屋江南線（庄内川橋）	耐震補強 L=0.33km	名古屋市						155	
2-A15	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（県）守山西線（東山跨道橋）	耐震補強 L=0.05km	名古屋市						100	
2-A16	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（県）田柵名古屋線（香流橋）	耐震補強 L=0.04km	名古屋市						125	
2-A17	道路	一般	名古屋市	直接		市町村道	修繕	（市）千代田山之端線（千代田橋）	耐震補強 L=0.20km	名古屋市						70	
2-A18	道路	一般	名古屋市	直接		都道府県道	修繕	（県）岩崎名古屋線（落合橋）	耐震補強 L=0.04km	名古屋市						500	
2-A19	街路	一般	名古屋市	直接		S街路	改築	東志賀町線ほか1（水分橋）	街路築造 L=2.0km	名古屋市						350	
2-A20	街路	一般	名古屋市	直接		S街路	改築	万場藤前線（正江橋）	街路築造 L=0.7km	名古屋市						3,583	
2-A21	街路	一般	名古屋市	直接		S街路	改築	江川線（南部工区）	街路築造 L=3.0km	名古屋市						3,414	
2-A22	街路	一般	名古屋市	直接		S街路	改築	大津町線	街路築造 L=2.2km	名古屋市						804	

[illegible]

[illegible]

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・（市）志段味水野線で法面对策が完了した結果、災害発生時にも土砂災害の発生がなく通行可能となることが期待される。 ・（主）名古屋多治見線（矢田川橋）を始めとした１６橋の橋梁の耐震補強・改築が完了したことで、災害時にも通行可能となり、緊急輸送道路のネットワークの強化が図られた。 ・江川線（南部工区）を始めとした２路線の一部区間で整備が完了したことで、災害時に必要な避難路の整備が進捗した。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（走行時間の短縮）	最終目標値	29%	目標値と実績値に差が出た要因	法面对策が完了し整備後のルートが通行可能となったため、整備後のルートは整備前のルートに比べ走行距離は短縮した。しかしながら、市街地を走行していることから平均速度が低下しているため、走行時間の短縮率が見込みよりも少なくなり、目標達成には至らなかった。
		最終実績値	21%		
	指標②（緊急輸送道路の通行可能率の向上）	最終目標値	90%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	90%		
	指標③（避難路の整備率の向上）	最終目標値	1. 2%	目標値と実績値に差が出た要因	関係機関との協議や用地の取得に時間を要し事業に遅れが生じたため、当初の予定に比べ整備完了した路線が少なくなり、目標達成には至らなかった。
		最終実績値	0. 6%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					

3. 有記号文字 (1 枚 1 文字)	
---------------------	--

が、統と市門の備束の耐震補強、収束、避難路の整備を進め、災害時に通行可能な緊急輸送道路、避難路のネットワーク強化を図り、災害に強い道路を整備する。

(様式第8)

参考図面

[illegible]